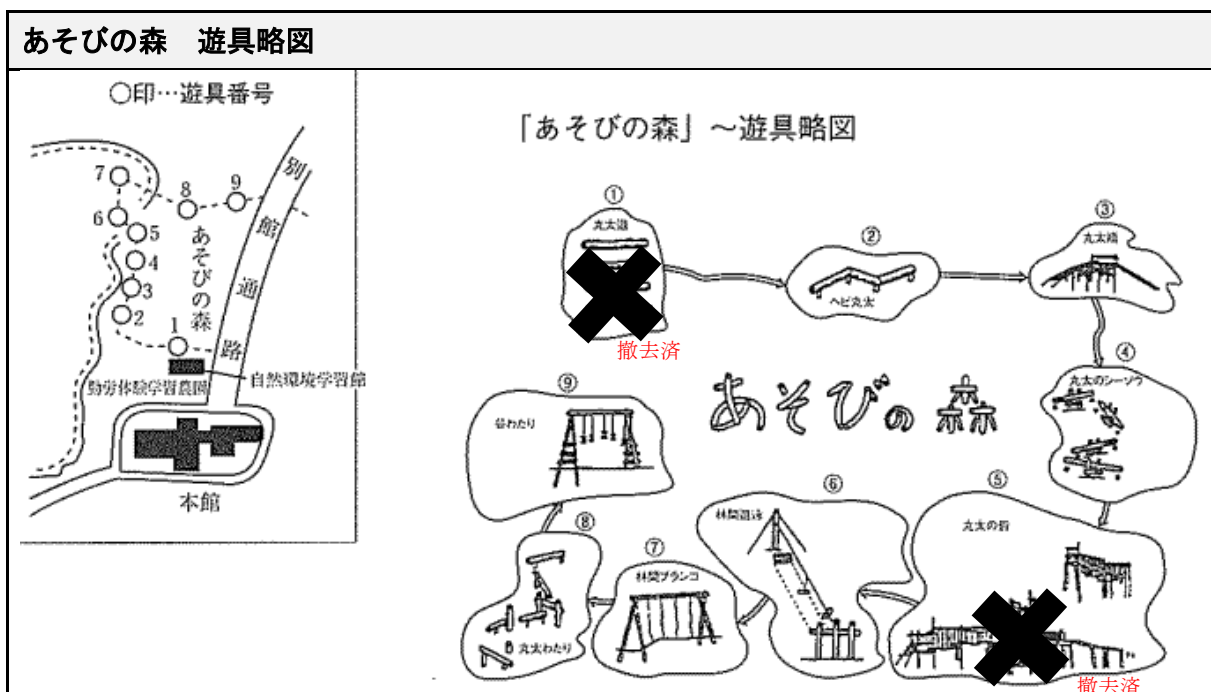


野外活動プログラム

活動名	(10) フィールドアスレチック			
内容	本館北側斜面にある「あそびの森」に設置されたアスレチックコースを次々に通過して、体力やバランス感覚を養う活動です。遊び方を工夫しながら自由に活動することもできます。子供たちは冒険心をかきたてられるに違いありません。また、イニシアティブゲームにも利用でき、人間関係など心を育む機会となります。			
条件	場所	あそびの森	対象	小学生以上
	時間	0.5時間～1.5時間	人数	100人程度
	時期	通年	天候	雨天時不可
期待される教育効果	(1) 自然の中で体を動かすことで体力やバランス感覚を養う。 (2) 遊びの中で仲間との親睦を図る。 (3) 集団で遊ぶことで思いやりや譲り合いの心をはぐくむ。			
準備物	自然の家が貸し出す物		団体が準備する物	
	<input type="checkbox"/> 無線 (任意)		<input type="checkbox"/> 動きやすい服装 (長袖、長ズボン、運動靴) <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 救急用品	
展開	1. 事前 (準備) (1) 事前に下見を行い、滑りやすい場所やつまずきやすい場所を確認する。 (2) 当日の天候を見て、自然の家の職員と相談の上、実施の判断をする。 2. 活動 (1) 代表者は必要に応じて、事務室で無線機を受け取る。 (2) 引率者の指導の下、健康観察、安全指導、準備運動を行う。 (3) 活動中、引率者は子供から目を離さない・ 3. 事後 (片付け) (1) 終了後、集合し、点呼及び健康観察を行う。 (2) 遊具等に破損や異常があるときは、職員に伝える。 (3) 代表者は必要に応じて、事務室に無線機を返却する。			
安全管理ポイント	<input type="checkbox"/> 実施の可否は、自然の家職員と相談の上で決定する。 <input type="checkbox"/> 引率者の目の届く範囲で活動をさせる。 <input type="checkbox"/> 引率者を動く遊具の周りなどの要所に配置し、安全を確保する。			



森のハウスづくり実施の手引き	
引率者の心構え	<ol style="list-style-type: none"> 1. ねらいを明確にした活動計画を作りましょう 「何のために実施するのか」「どのように活用するのか」など、活動のねらいをはっきりさせて計画を作りましょう。 2. 引率者（団体の責任者）は必ず事前の下見を行いましょう 下見をすることで、危険箇所の把握及び的確な指導法の発案などに役立ちます。 3. 活動における注意事項を徹底するための事前説明（学習）を行いましょう 森の中での活動は危険を伴う場合があることや、活動のねらいをしっかりと伝えるためにも、事前説明を行いましょう。 4. 直前の気象情報を把握してから活動しましょう 長崎地方気象台HP等で天気予報が調べられます。これらの情報をもとに、自然の家の職員と相談の上、実施の可否を決定します。 5. 活動中は環境への配慮を取り入れましょう 森の美しい環境は、絶妙なバランスの上に成り立っています。環境に負担をかけないように十分配慮しましょう。 6. 事後学習の機会を設けましょう 森の環境と身近な環境の違いや、フィールドアスレチックで築かれた人間関係など、ねらいに合わせた振り返りをしましょう。
安全な活動のための準備	<ol style="list-style-type: none"> 1. 服装、装備 <ol style="list-style-type: none"> (1) 長袖、長ズボン、軍手、帽子の着用 <ul style="list-style-type: none"> ・森の中での活動は、夏でも長袖、長ズボン、帽子が基本です。肌の露出は控えましょう。 ・軍手を必ず着用しましょう。素材は問いません。 (2) 運動靴と靴下を着用 <ul style="list-style-type: none"> ・履きなれた運動靴を履きましょう。脱げやすいものや底がつるつるのものは滑りやすく危険です。 ・足が固定されるように厚手の靴下を着用しましょう。 (3) 雨具の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・山の天候は変わりやすく、予想外の降雨等も考えられます。防寒具としても使えますので、必要に応じて雨がっぱ等を準備しましょう。雨がっぱは上下に分かれる物が使いやすいです。 2. 事故に備えての対応 <ol style="list-style-type: none"> (1) グループに傷病者が出た場合、誰が、どのように対応するかを事前に決めておきます。 (2) 万が一の事故に備え、諫早自然の家、学校、保護者等の関係者への連絡方法を決めておきます。 (3) 引率者は、絶えず参加者の所在と健康状態を確認することが大切です。
自然の家来所前に指導していただきたいこと	<ol style="list-style-type: none"> (1) 体調を万全にして臨む。 (2) 活動前に服装などをお互いに点検する。 (3) 活動中は班行動をとる。 <ol style="list-style-type: none"> ①単独行動は、けが等の原因になります。また、体調が悪くなる、けがをするなどして動けなくなった場合に、引率者との連絡が困難になります。 ②万が一誰かがけがをしたり、具合が悪くなったり、動けなくなったときは、ただちに近くの仲間や引率者に知らせ、助けを求める。 (4) ヘビやスズメバチ等の危険動物を発見したら、全員に注意を喚起する。 (5) 活動終了時はきちんと靴の泥を落とす。

<p>活動中止 等の基準</p>	<p>(1) 落雷の危険がある際には中止する。 〈基準〉・雷警報が発令されている。または、雷鳴が聞こえる。 ・雷注意報発令中で、気象レーダーで雷雲の発生が見られる。 ・自然の家事務室のサンダーメーターが作動した。</p> <p>(2) 強風の危険がある際には中止する。 〈基準〉・自然の家事務室の風速観測機が風速 8m を越えた。</p> <p>(3) 雨の予報がある際には、活動実施の可否を検討する、 ※「あそびの森」の遊具は水に濡れると非常に滑りやすくなるため、小雨でも実施不可です。 〈基準〉・長崎地方気象台 HP 等で天気予報を調べ、活動時間中に降雨の予報がある。</p> <p>※実施に不安がある場合は、遠慮せず事務室に相談にお越しくください。</p>
----------------------	---